



Be the **Right ONE**

2017年3月期 連結決算概要及び 2018年3月期 業績予想

2017年5月2日
豊田通商株式会社



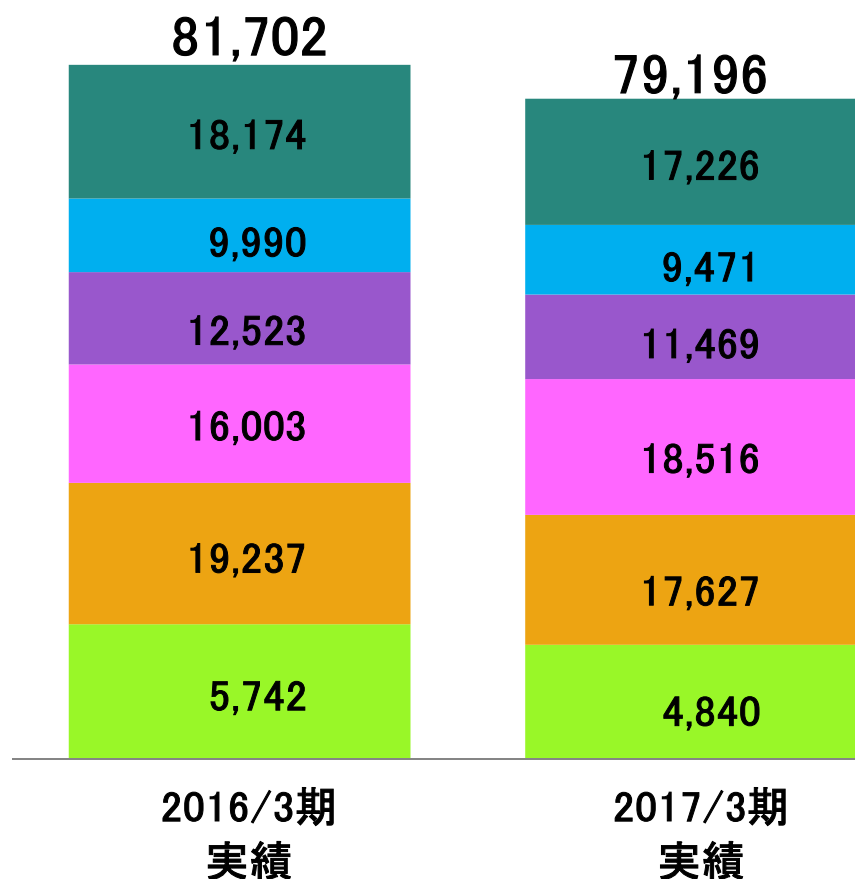
Be the **Right ONE**

I. 2017年3月期 連結決算概要

2017年3月期 連結決算概要 (売上高)

(単位:億円)

前期比 ▲3.1%
▲2,506



<前期比売上高増減要因>

本部	為替影響額	為替影響除く増減額	主な増減要因
金属	▲1,023	75	市況の下落の一方で自動車生産台数増加等により増収
グローバル	▲1,010	491	海外での自動車部品取扱い増加により増収
自動車	▲1,025	▲29	海外自動車販売会社の取扱台数減等により減収
機エネ	▲680	3,193	石油製品の取扱い増加等により増収
化エレ	▲981	▲629	エレクトロニクス関連取扱い減少等により減収
食料・生活産業	▲256	▲646	輸入及び海外での穀物取扱い減少等により減収
合計	▲4,978	2,472	※2016年4月1日より、食料本部と生活産業本部を統合し名称を食料・生活産業本部に変更しております。これに伴い、前年同期実績につきましては変更後の事業区分により組み替えて記載しております。

- 金属
- グローバル部品・ロジスティクス
- 自動車
- 機械・エネルギー・プラントプロジェクト
- 化学品・エレクトロニクス
- 食料・生活産業

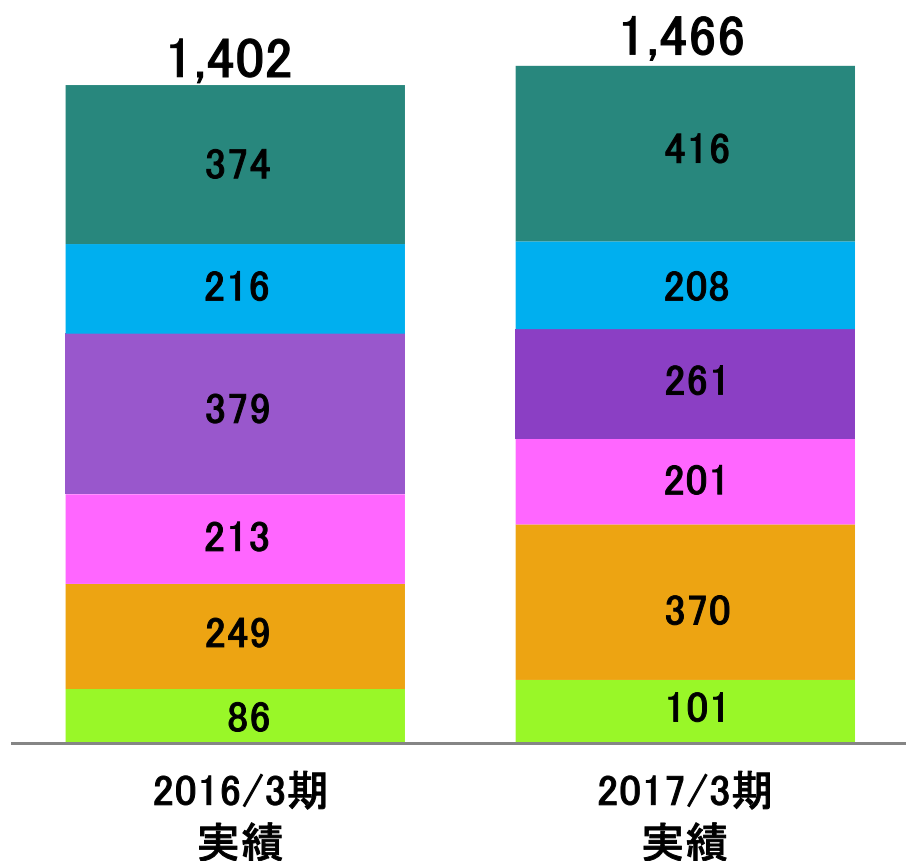
<為替レート>

	2016/3期	2017/3期
円/米ドル	120	108
円/ユーロ	133	119

2017年3月期 連結決算概要（営業利益）

（単位：億円）

前期比 **+4.5%**
+64



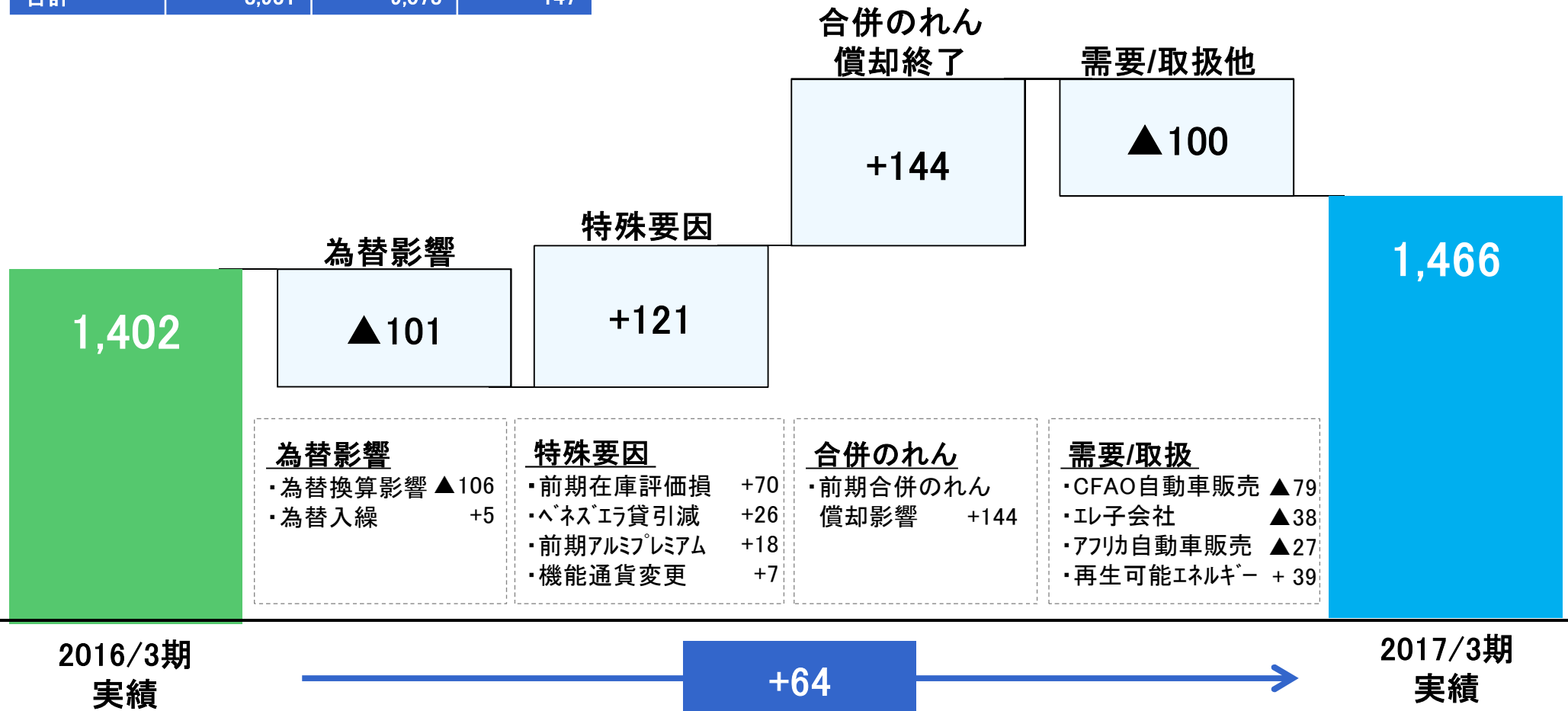
<前期比営業利益増減要因>

本部	為替影響額	為替影響除く増減額	主な増減要因
金属	▲30	72	市況の下落の一方で自動車生産台数増加等により増益
グロロジ	▲20	12	海外での自動車部品取扱い増加により増益
自動車	▲38	▲80	単体の輸出及び海外自動車販売会社の取扱台数減少等により減益
機エネ	▲3	▲9	営業外為替差損益との入繰りによる影響等により減益
化エレ	▲19	140	のれん償却費の減少及び前期たな卸資産の評価損影響等により増益
食料・生活産業	▲8	23	のれん償却費の減少等により増益
合計	▲106	170	

- 金属
- グローバル部品・ロジスティクス
- 自動車
- 機械・エネルギー・プラントプロジェクト
- 化学品・エレクトロニクス
- 食料・生活産業

<トヨタ自動車生産台数>

(単位:千台)	2016/3期	2017/3期	増減
国内	3,172	3,188	16
海外	5,759	5,890	131
合計	8,931	9,078	147

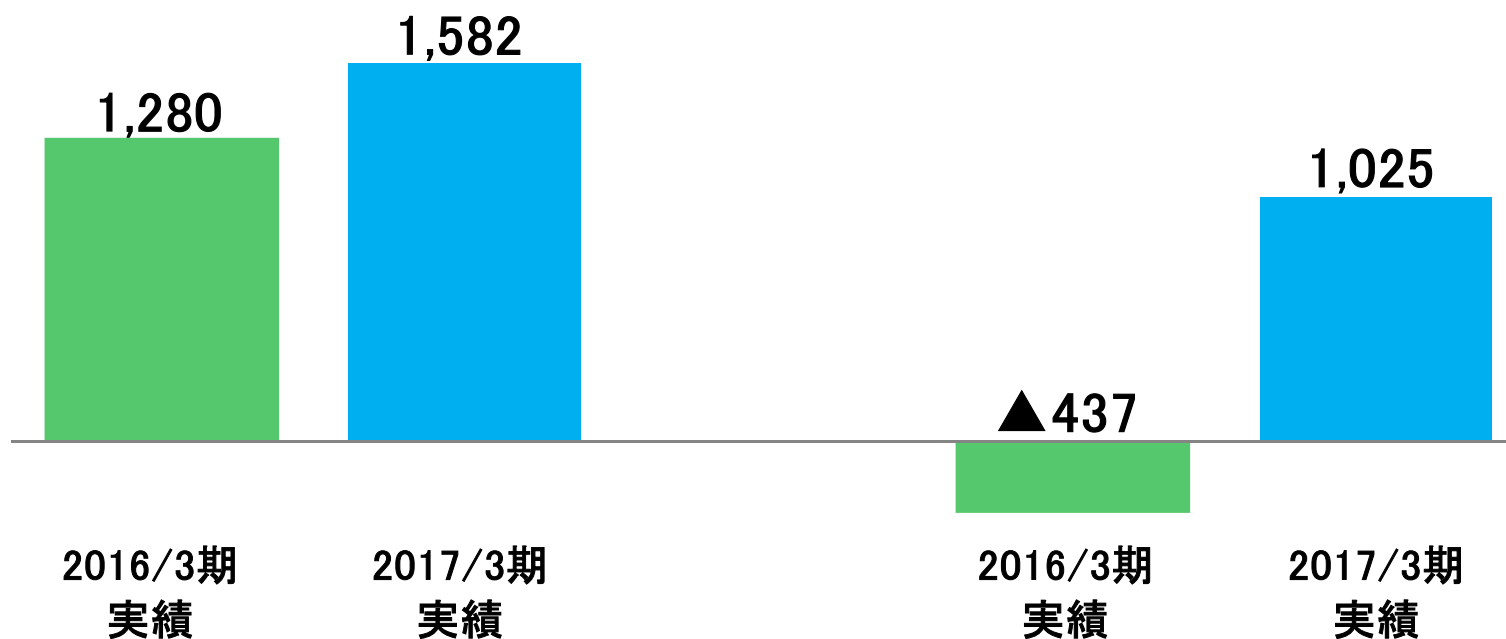


2017年3月期 連結決算概要 (經常利益・当期純利益)

(單位: 億円)

前期比 +23.6%
+302

前期比 - %
+1,462



經常利益

当期純利益
(当社株主帰属)

2016/3末		2017/3末	
流動資産 24,258	流動負債 17,371	流動資産 25,339	流動負債 17,451
	固定負債 11,591		固定負債 11,996
固定資産 15,262	純資産 10,557	固定資産 15,628	純資産 11,519

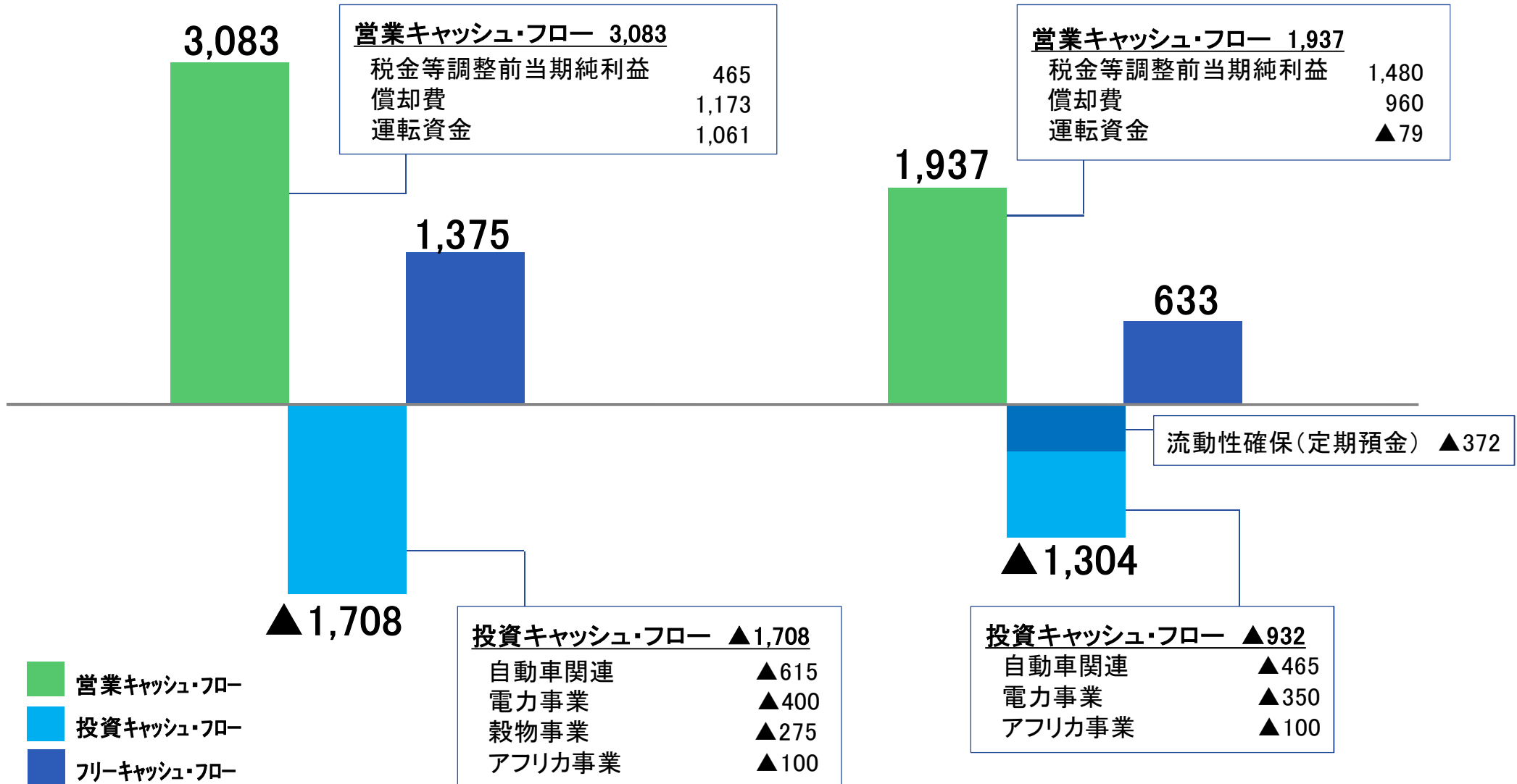
	2016/3末	2017/3末	増減
総資産	39,521	40,968	+1,447
自己資本	8,886	9,832	+946
自己資本比率	22%	24%	+2%
有利子負債(NET)	11,027	10,502	▲525
DER(NET)	1.24倍	1.07倍	▲0.17倍
流動比率	140%	145%	+5%

キャッシュ・フロー

(単位:億円)

2016/3期

2017/3期





Be the **Right ONE**

Ⅱ. 2018年3月期 業績予想

	<u>日本会計基準</u>	<u>国際会計基準</u>
	2017/3期 実績	2018/3期 予想
売上総利益	5,788	5,670
営業活動に係る利益	-	1,600
税引前利益	1,480	1,820
当期利益	1,025	1,100
配当金(年間)	70円	78円
為替レート	円/米ドル 108 円/ユーロ 119	円/米ドル 105 円/ユーロ 115
トヨタ自動車 生産台数	907万台	900万台

2018年3月期 本部別業績予想

(単位:億円)

	2018/3期	
	売上総利益	当期利益
金属	870	260
グローバル部品・ ロジスティクス	670	160
自動車	770	160
機械・エネルギー・ プラントプロジェクト	750	180
化学品・エレクトロニクス	950	250
食料・生活産業	450	55
※ アフリカ	1,180	65
合 計	5,670	1,100

※ 2017年4月1日より、各商品本部のアフリカ関連ビジネスを統合しアフリカ本部を新設しております。

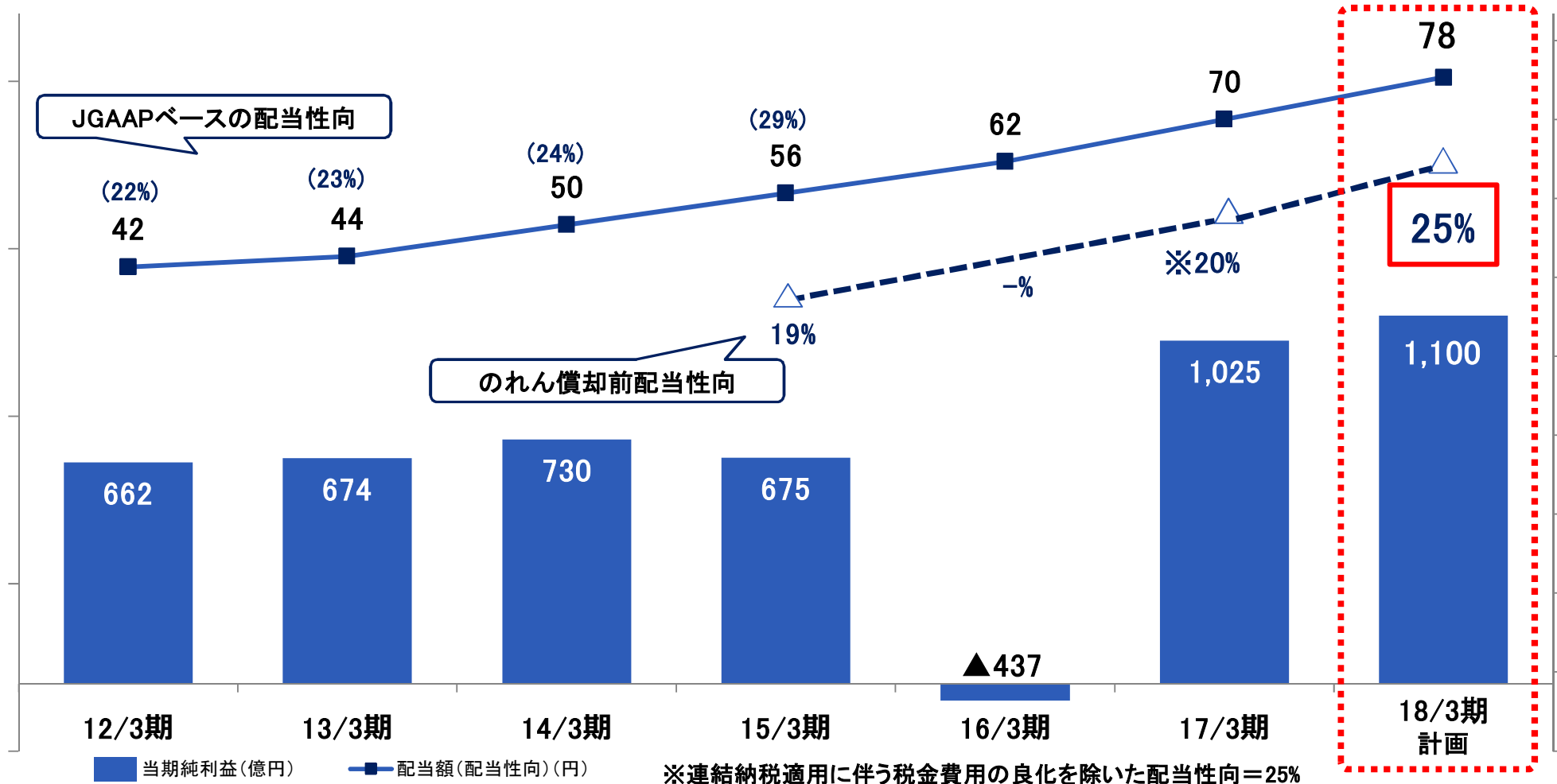
新株主還元方針

従来

のれん償却前当期純利益に対する
連結配当性向25%を目指す

新株主還元方針

連結配当性向25%以上を目安に
安定的な配当の継続並びに
1株当たりの配当の増額に努めていく

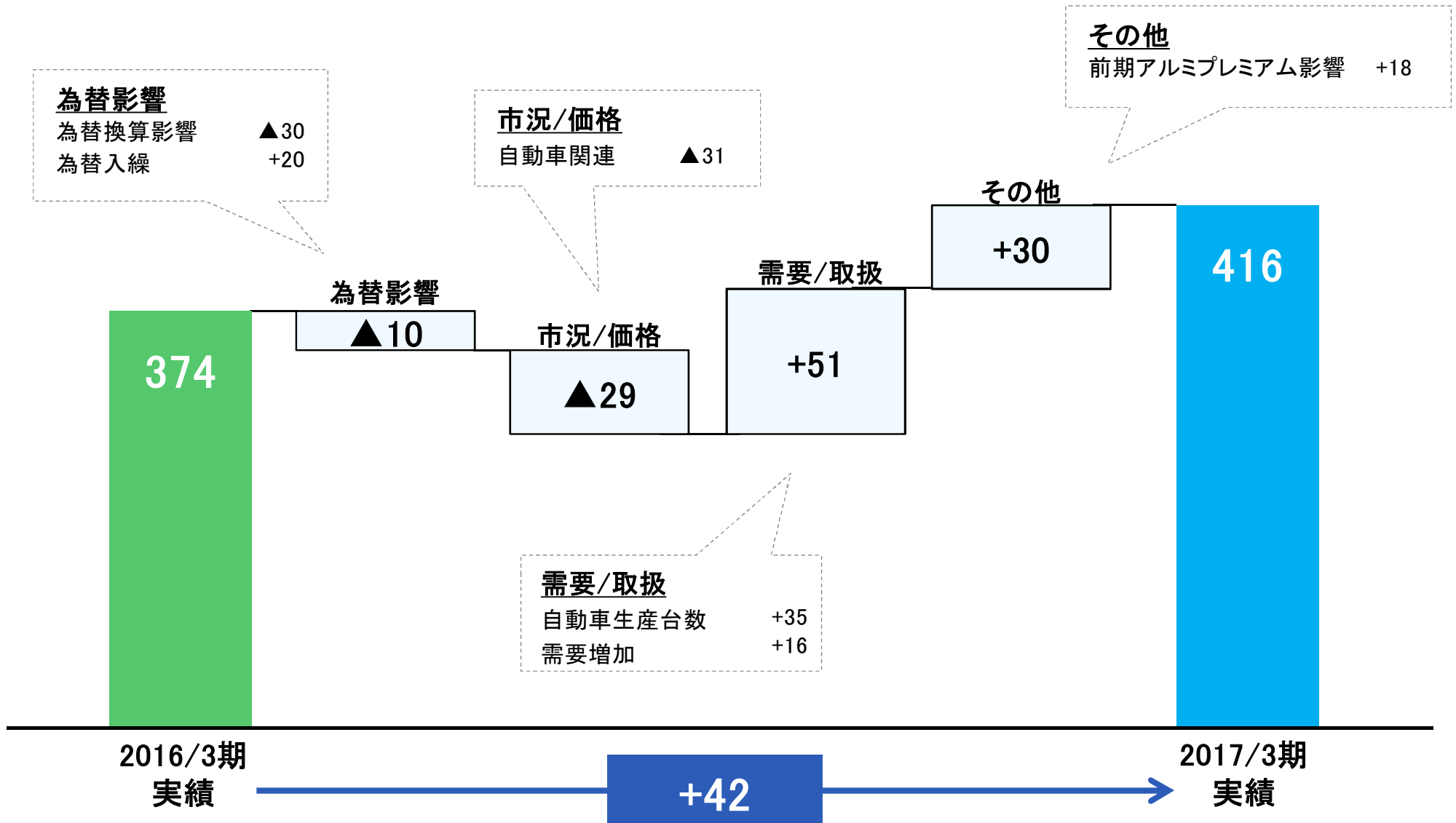




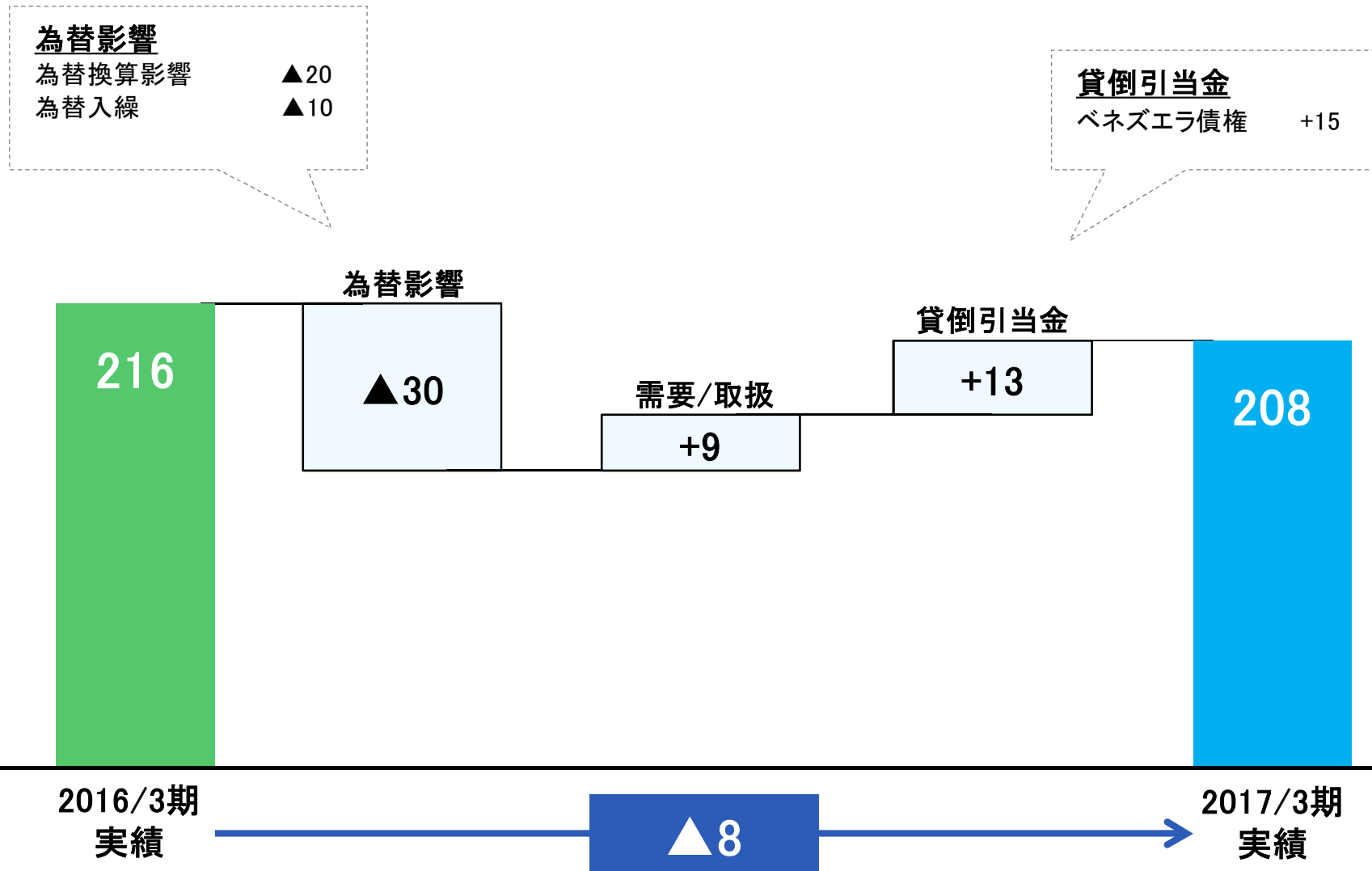
Be the **Right ONE**

Ⅲ. 補足資料

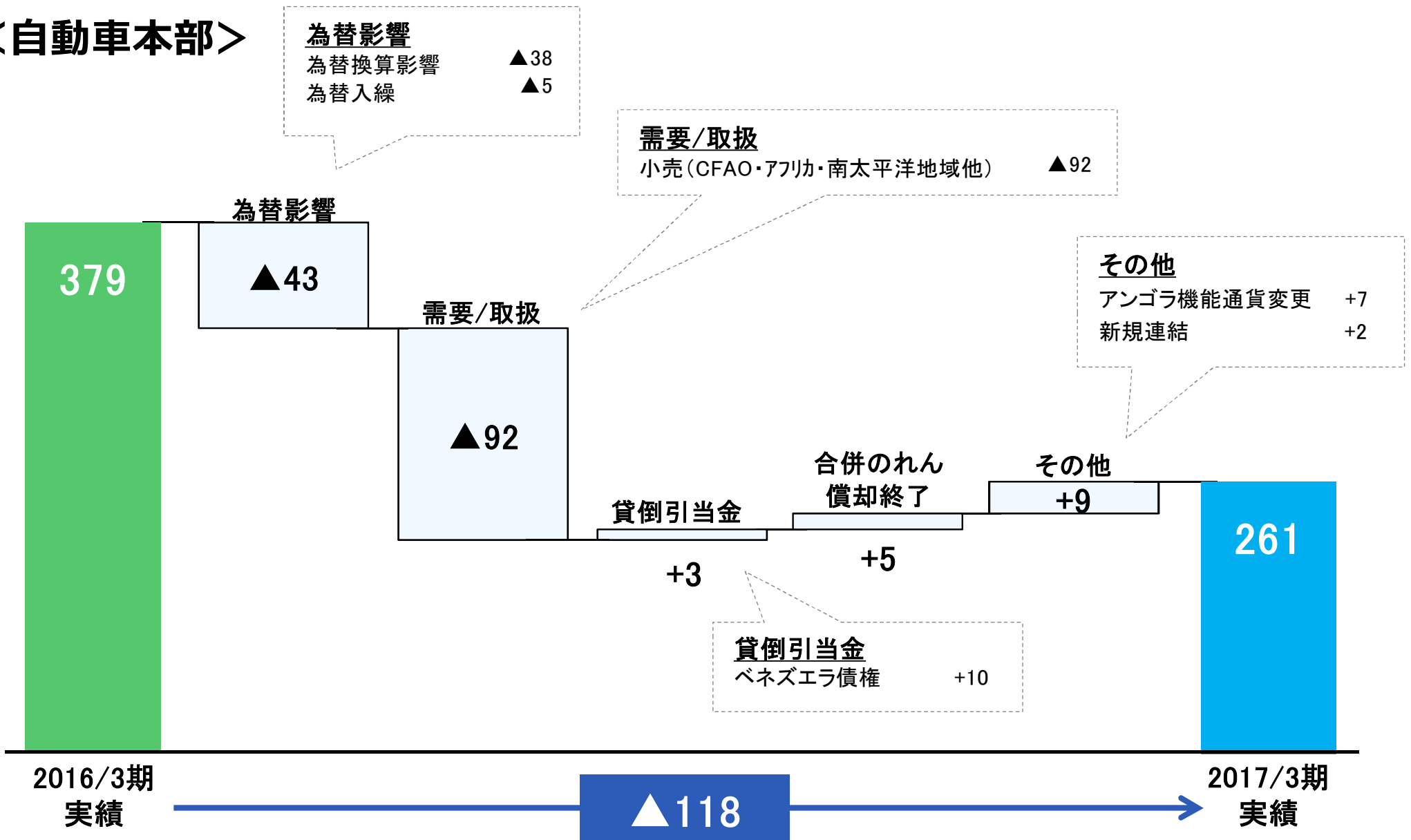
<金属本部>



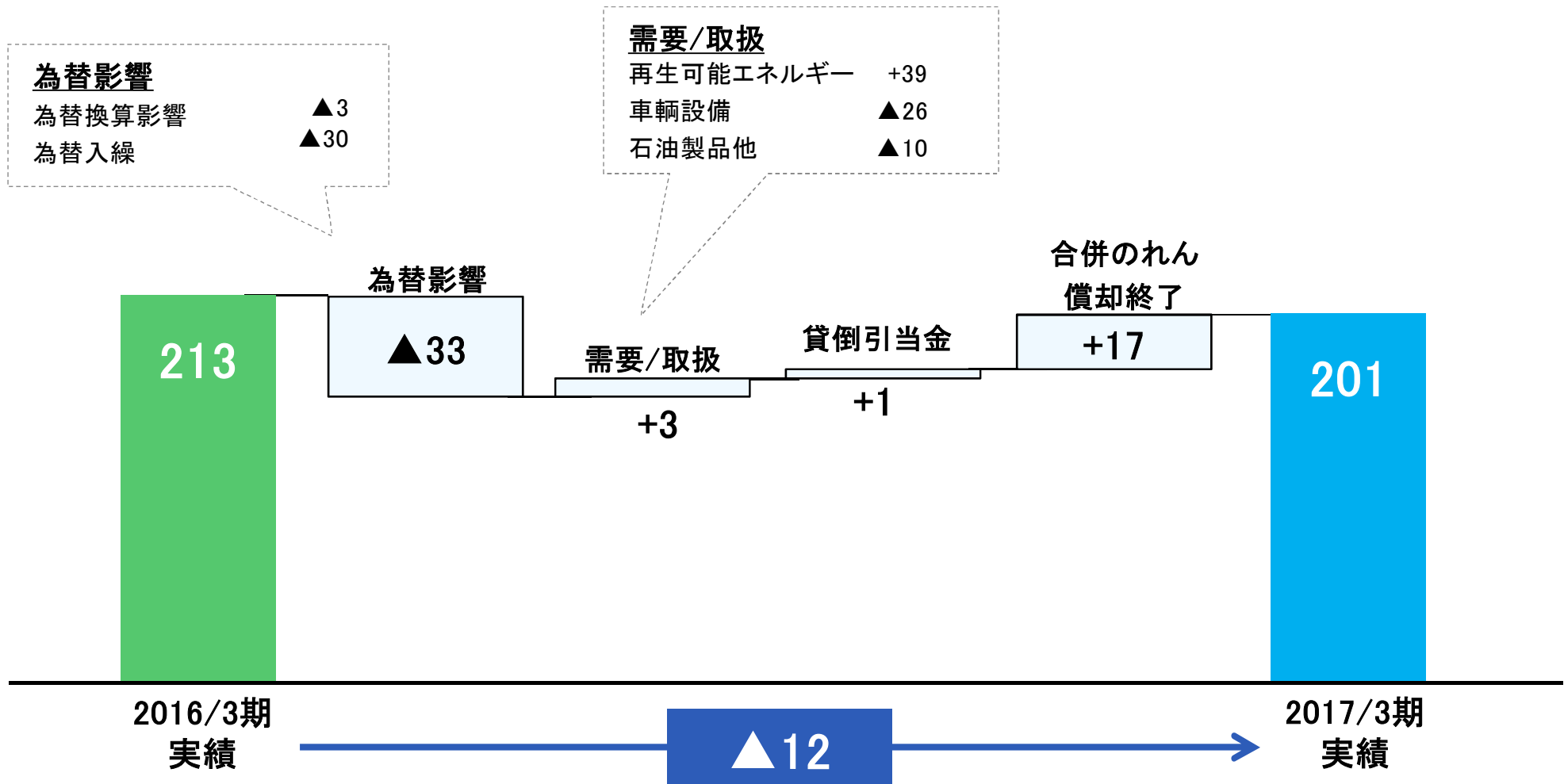
<グローバル部品・ロジスティクス本部>



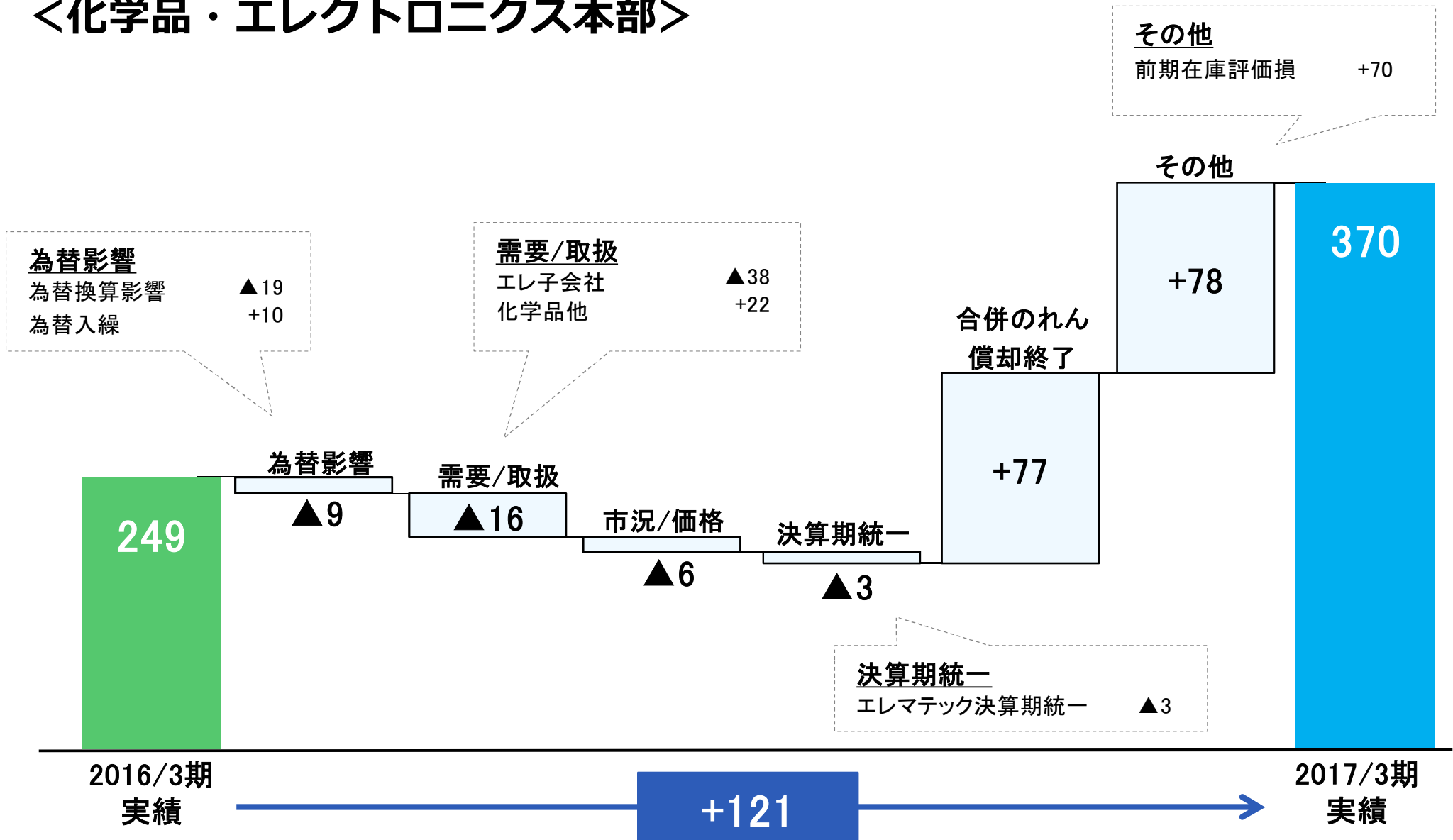
<自動車本部>



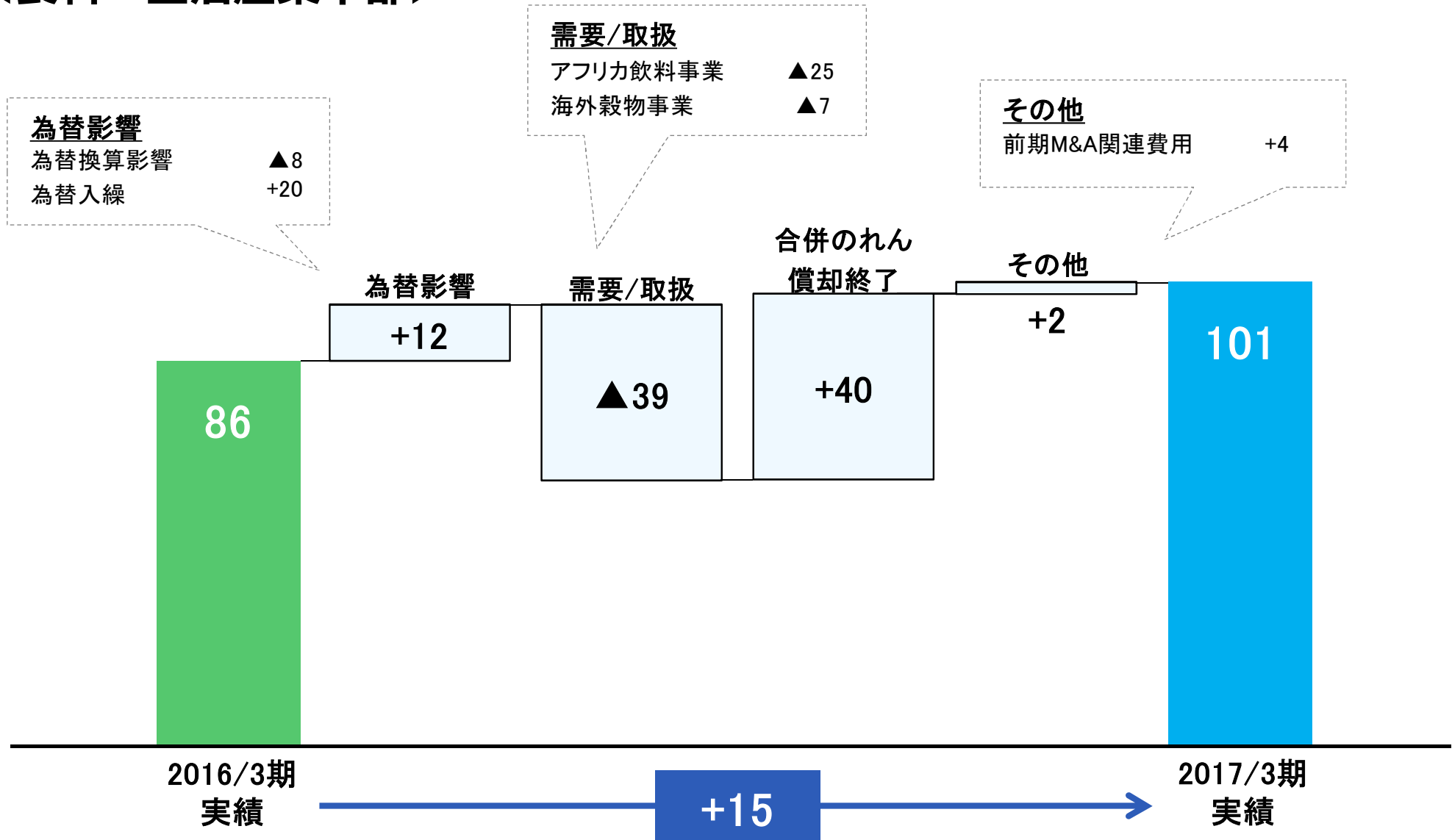
<機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部>



<化学品・エレクトロニクス本部>



<食料・生活産業本部>





自動車生産関連事業の振り返りと今後の見通し

<自動車生産台数>

(単位:千台)	2016/3期	2017/3期	増減	2018/3期 (予想)
国内	3,172	3,188	16	3,200
海外	5,759	5,890	131	5,800
合計	8,931	9,078	147	9,000

<主な自動車生産国状況>

(単位:千台)	2016/3期	2017/3期	増減	振り返りと見通し
北米	1,958	1,977	19	好調継続。 生産はほぼ横ばい見込み
中国	1,071	1,100	29	減税策継続により、生産需要は強含み
タイ	588	537	▲51	消費等の自粛影響及び中東への輸出 需要減影響。今後は緩やかに復調見込み

※各国の数値は調査会社数値を参考に当社にて作成



自動車販売関連事業の振り返りと今後の見通し

<自動車小売台数>

(単位:千台)	2016/3期	2017/3期	増減	内訳
小売台数(CFAO含む)	200	197	▲3	<ul style="list-style-type: none"> ・ CFAO ▲7 ・ 豊田通商アフリカ ▲4 ・ その他 +8

<マーケット状況>

主な地域	2017/3期	2018/3期
アフリカ	資源価格低迷により、豊田通商、CFAO いずれも販売台数は減少	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資源価格の底打ちで、市場回復を期待 ・ 足元は厳しくほぼ横ばいを見込む
欧州・ロシア (東欧含む)	前年比小売台数回復	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資源価格の底打ちで、緩やかな回復基調
アジア・オセアニア	資源価格低迷によりオセアニアは弱含み	<ul style="list-style-type: none"> ・ メコン地域好調維持 ・ 全般的に緩やかな回復基調
中南米	資源国・非資源国による回復差あるも、地域販売台数は前年並み	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほぼ横ばい見込み

2017/3期 通期投資実績		
	主な内訳	金額
Mobility	<ul style="list-style-type: none"> ディーラー網整備(CFAO他) 北米自動車生産関連設備 	1Q-3Q 342
		4Q 123
		465
Resources & Environment	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光・風力発電事業(ユーラス) 	1Q-3Q 246
		4Q 208
		454
Life & Community	<ul style="list-style-type: none"> ファーマ・リテール事業(CFAO) 	1Q-3Q 154
		4Q 92
		246
		1,166
	流動性確保(定期預金)	372
	その他	▲234
	投資キャッシュ・フロー	▲1,304



Be the **Right ONE**

IV. 補足資料 (C F A O 関連)

	2015/12期	2016/12期	増減
売上高	3,435.7	3,275.3	▲160.4
売上総利益	854.5	807.9	▲46.6
人件費	▲299.7	▲302.7	▲3.0
その他の営業活動に係る損益	▲285.6	▲316.2	▲30.6
一過性損益を除く営業活動に係る利益	269.2	188.9	▲80.3
一過性損益	9.8	25.9	16.1
営業活動に係る利益	279.0	214.8	▲64.2
金融損益	▲47.5	▲44.3	3.2
税引前利益	231.5	170.5	▲61.0
法人税等	▲86.6	▲76.9	9.7
持分法に係る損益	0.7	▲3.8	▲4.5
当期利益	145.6	89.8	▲55.8
非支配株主に帰属する当期純利益	39.0	29.4	▲9.7
親会社株主に帰属する当期純利益	106.6	60.4	▲46.1

バランスシート

	2015/12期	2016/12期	増減
無形固定資産	261.8	262.4	0.6
有形固定資産	521.0	502.5	▲18.5
運転資本	727.5	704.9	▲22.6
その他	41.8	95.3	53.5
使用資金	1,552.1	1,565.1	13.0
純資産	1,012.2	1,003.3	▲8.9
有利子負債(NET)	539.9	561.8	21.9

キャッシュ・フロー

	2015/12期	2016/12期	増減
営業キャッシュ・フロー (税金、配当、利息控除前)	330.8	266.7	▲64.1
運転資本増減	▲41.7	22.5	64.2
法人税等	▲93.8	▲83.9	9.9
営業活動に係る投融資	▲148.5	▲92.6	55.9
フリー・キャッシュ・フロー	46.8	112.7	65.9

2016/12期

	Equipment& Services	Healthcare	Consumer goods	Holding& Others	合計
売上高	1,709.5	1,251.9	313.1	0.0	3,275.3
営業活動に係る利益	99.0	100.5	19.6	▲30.1	188.9
資産	1,191.5	731.8	342.5	50.4	2,317.5
負債	456.5	311.7	65.1	12.7	844.7

2015/12期

	Equipment& Services	Healthcare	Consumer goods	Holding& Others	合計
売上高	1,834.1	1,251.5	350.0	0.1	3,435.7
営業活動に係る利益	143.7	104.9	52.3	▲31.7	269.2
資産	1,261.8	713.3	382.9	38.4	2,396.3
負債	481.4	311.5	70.7	16.3	879.9



CFAO業績推移（営業活動に係る利益・当期利益）

（単位：百万ユーロ）

事業分野	2015/12期	2016/12期	増減	増減要因
Equipment & Services	143.7	99.0	▲44.7	マグレブ ・市場縮小・輸入規制(アルジェリア) ・リストラ効果から前年比ではプラス
				西アフリカ ・産油国7か国を中心に販売低迷 ・前年比減少額の殆どが西アフリカ影響
				東アフリカ ・低調な経済環境(ケニア、ザンビア等) ・VWの販売伸び悩み(前年同期対比は微増)
				海外県 ・ベトナム等海外県好調。前年比プラス
Healthcare	104.9	100.5	▲4.4	・直販取引減少、北アフリカ景況悪化
Consumer goods	52.3	19.6	▲32.7	・ビール事業 競争激化による利益率ダウン ・リテール事業 主に新店舗の先行経費増
Holding	▲31.7	▲30.1	1.6	
営業活動に係る利益	269.2	188.9	▲80.3	
当期利益	106.6	60.4	▲46.2	

豊田通商株式会社 財務部 IR室

E-mail ttc_ir@pp.toyota-tsusho.com

東京

TEL 03-4306-8201

FAX 03-4306-8818

◆ 当プレゼンテーション資料は、豊田通商株式会社およびそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでいます。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売却、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり、当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。